

1学期を振り返る・自分を磨く

～1学期終業式 校長式辞～

【7月20日、1学期終業式の学校長式辞から】

平成30年度の1学期、氷上西高生として学校生活をうまくスタートすることができたでしょうか。

① 平成30年度の1学期を振り返って、良かったこと

みんなの学校生活の様子を見ていて、さすが高校生と感じられる場面がたくさんありました。特に良かった、良くなったと思うことを3つ話します。

◆あいさつ

朝、昇降口で、きちんとあいさつのできる生徒が増えました。「おはようございます」と大きな声で、先生の姿を見たら自分から先にあいさつができる人が確実に増えました。地域の方からも、西高の生徒はよく挨拶をするようになったと、よくほめてもらいます。

◆時間を守る

遅刻する生徒の数を月ごとに集計しています。今年度になって、朝、登校時刻に遅刻してくる生徒の数が激減しました。とても良いことです。また、全校集会等の行事で集合するときにも、集合時間前に全校生が集合を完了しています。

◆自主性

体育大会は、事前の練習、前日の準備、当時の競技への参加・運営、後片付けと、本当にみんな自ら進んでよく動き、すばらしい体育大会になりました。クリーンアップ大作戦、中高連携芸術鑑賞会では、高校生が自ら動き、青垣小学校・青垣中学校の児童・生徒に対してうまく声をかけながら行事を進めることができていました。

② 「自分を磨く」ということ

16歳として、17歳として、18歳として、それぞれが成長してほしいと思います。そのためには、自分を磨くという意識を持って行動してほしいと思います。

◆あたりまえのことをあたりまえにできる

「あいさつ」「掃除」「時間を守る」。どれもあたりまえの普通のことですが、あたりまえのこと、普通のこと、あたりまえに、普通にできることが実はとても大切です。高校生活を通して、良い習慣を身につけましょう。良い習慣は一生の宝です。

◆明るい笑顔

自分磨きは一人だけではできません。人間関係の中で、人とのかかわりをとおして磨かれる力がたくさんあります。そのためには明るい笑顔が大切です。自然と明るい笑顔がでるよう心がけましょう。明るい笑顔は人を引き付け、まわりを明るくします。

◆挑戦する

高校では、今までにやったことのないことにも挑戦しましょう。それが、苦手を克服したり、得意を伸ばすことになります。「成功の反対は失敗ではない。何もしないこと」です。

(校長 高橋信之)